

給食センターと連携し伝統料理学校給食献立を活用した食育について
—未来につなぐ・・・子どもたちへ伝えたい料理の継承—

1 ねらい

- (1) 人々の食に関する知恵や工夫が詰まった料理を知り、食の伝統を受け継ごうとする態度を育てる。(「郷土愛」の育成)
- (2) 地域の方々との交流をもつことにより、郷土の食文化について関心を高める。(「郷土愛」「感謝の心」の育成)

2 方法

- (1) 地域から応募した伝統料理給食の実施
地域より子どもたちへ伝えたい伝統料理を募集し、その料理を給食で実施する。
 - ① 実施日
平成22年 1月29日(金)(学校給食週間期間に設定)
 - ② 献立
麦ごはん 牛乳 かつおひじき煮 ぜんまいと糸こんにゃくの炒め
みかん (応募された伝統料理)
- (2) 地域の方と児童の交流給食
料理応募者との会食を行い、伝統の食べ物など郷土の食文化について会話する。
(※ 交流給食を行う学年を決める。)
- (3) 保護者への啓発
保護者への伝統料理啓発のため、給食センター作成のおたよりを家庭に配布する。

